

まちづくりにおける市民・行政・専門家の連携・交流を考える

企画事業委員会・関西社会連携交流特別委員会

市民まちづくりは、都市計画や地域整備の手法の一つとして機能してきた感があるが、その背景にはまちづくりの担い手である市民や、その活動を支援する行政、そしてこれら主体に対し知恵を出したり実際の活動をサポートする専門家のそれぞれが役割を果たしてきていることが挙げられる。一方で、市民まちづくりは、活動が経年するごとに活動のモチベーションの維持が課題となっており、さらに財政難などを原因とする行政の市民まちづくりへの支援の低下などから、市民まちづくりに閉塞感が出てきているのも現実である。

(社) 日本都市計画学会関西支部では、まちづくりの主体である市民、行政、専門家の連携・交流について様々な角度から見つめなおし、関西の各都市において展開してきた市民まちづくりの今後について考えていく。

セクション ① 市民まちづくりの今から考える

■開催要領

日時：平成 21 年 12 月 19 日 (土)

14:00~17:00 (13:30 開場)

場所：大阪市立住まい情報センター 3 階ホール

定員：150 名 (先着順)

参加費：無料

(学会員の方は、当日会員証をご持参下さい)

市民まちづくりの現状から市民・行政・専門家の 連携のあるべき姿について考える

■プログラム (詳細は調整中)

第 1 部 基調講演

久 隆浩 氏 (近畿大学工学部社会環境工学科 教授)

第 2 部 パネルディスカッション

<パネラー>

山本 茂 氏 (NPO 法人 千里・住まいの学校 代表理事)

千里ニュータウンの高齢化や住宅の維持・管理、住み替えなどの問題に対し、専門家や住民、大学教員などが連携して活動してきた実績から議論をいただく

広瀬 幸平 氏 (箕面市みどりまちづくり部 副部長)

ハード整備である区画整理事業後のまちづくりのあり方について、公民の新たな役割を模索し続けている現状から議論をいただく

宮本 三恵子 氏 (㈱関西総合研究所 取締役)

専門家として行政・市民の間に立ち、様々な地域で市民まちづくり活動に携わってきた経験から議論をいただく

<コーディネーター>

久 隆浩 氏 (近畿大学工学部社会環境工学科 教授)



所在地 大阪市北区天神橋6丁目4-20
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口より連絡
JR環状線「天満」駅から北へ徒歩7分

■申込方法

学会 HP (<http://www.cpij-kansai.jp/>) にある参加申込みフォーム、または FAX (06-6949-1925) にて、所属・氏名 (ふりがな)、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、12月16日(水)までに申込して下さい。尚、参加者に対しメールにて連絡を行うことがありますので、可能な限りメールアドレスをご記入下さい。(得られた個人情報は今回の催しにのみ使用します。)

この講演会は「都市計画CPD」認定プログラム (予定) です。

2

関西社会連携交流特別委員会では「まちづくりにおける市民・行政・専門家の連携・交流」をテーマに今後、さまざまな切り口で講演会などを開催していく予定です

